



決算説明会

2015年 3月期

2015年 5月1日

ローム株式会社 澤村 諭

AGENDA

■ 2015年3月期 業績報告

■ 2016年3月期 業績予想

■ ロームの戦略

1. 市場改革
2. 商品改革
3. 生産革新

■ 設備投資

■ 株主還元

■ LSI事業戦略

■ ディスクリート・モジュール事業戦略

2015年3月期 業績報告 -前年比-

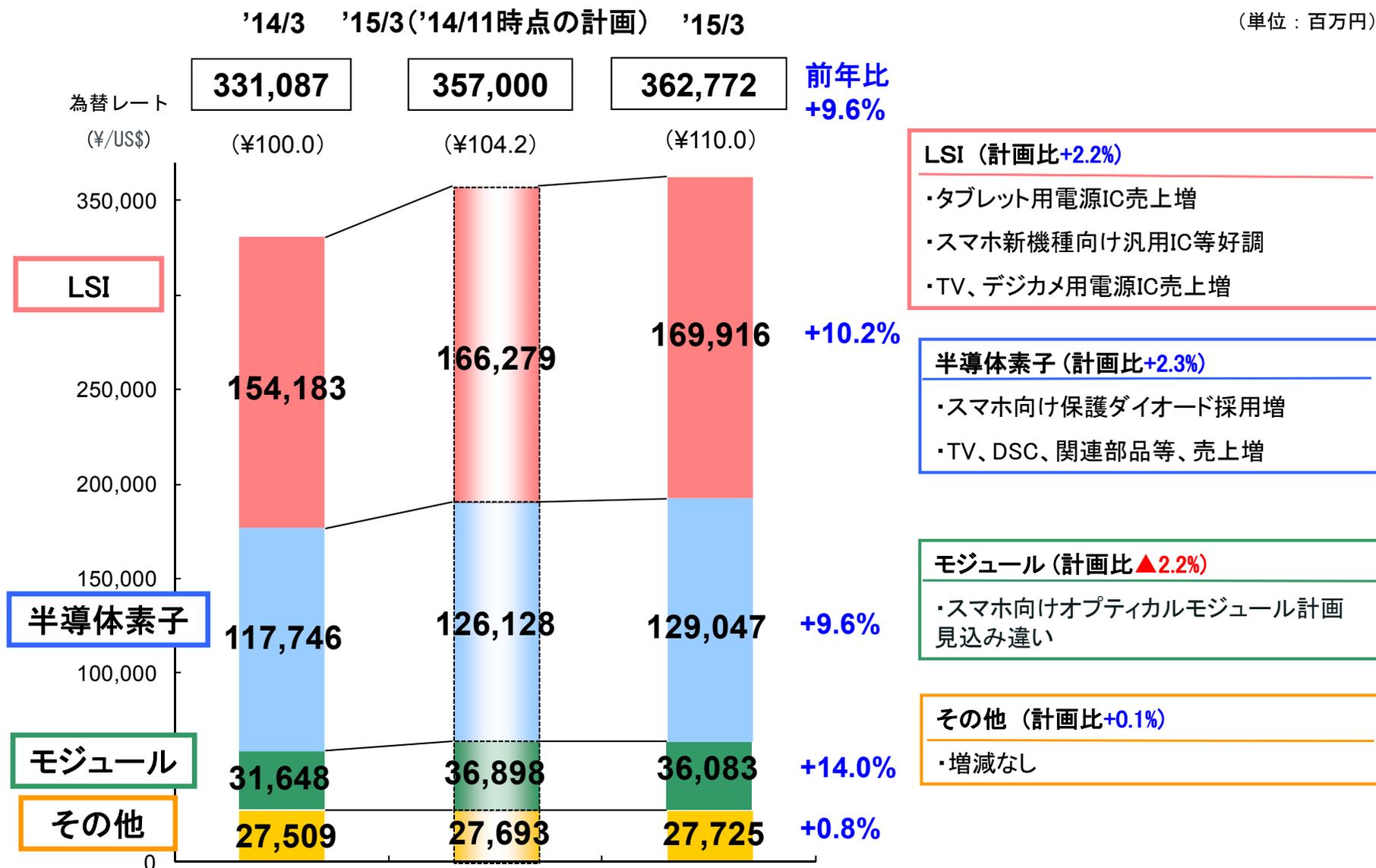
(単位:百万円)

	'15/3期 実績	'14/3期 実績	増加額	前年比
売上高	362,772	331,087	+31,685	+9.6%
営業利益	38,800	23,635	+15,165	+64.2%
(対売上比率)	(10.7%)	(7.1%)	—	—
経常利益	59,218	35,915	+23,303	+64.9%
(対売上比率)	(16.3%)	(10.8%)	—	—
当期純利益	45,296	32,091	+13,205	+41.1%
(対売上比率)	(12.5%)	(9.7%)	—	—
EBITDA	73,267	49,194	+24,073	+48.9%
(対売上比率)	(20.2%)	(14.9%)	—	—

期中平均レート(¥/US\$) (110.03) (100.00)

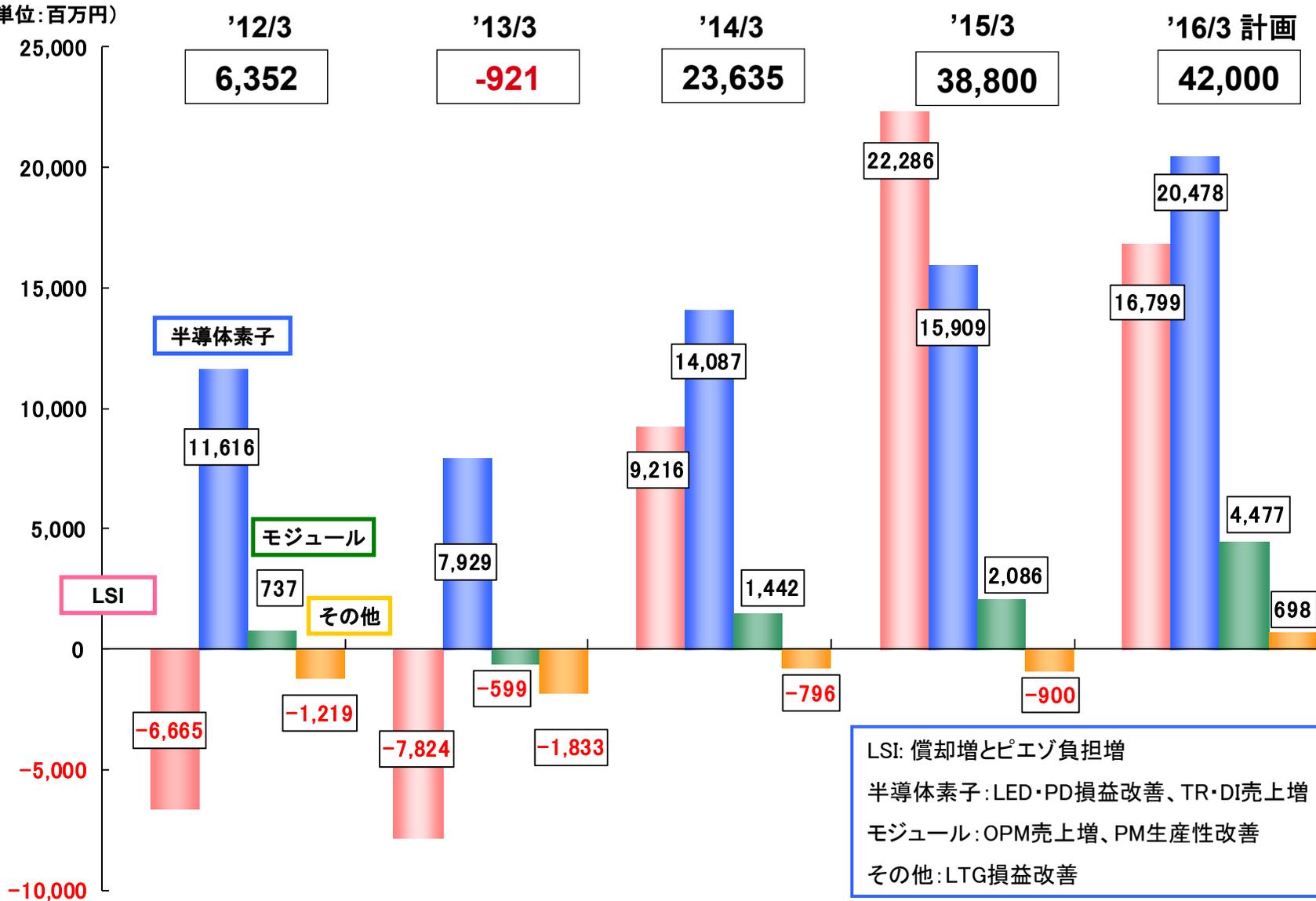
2015年3月期 業績報告 -セグメント別売上前年比-

(単位：百万円)



2015年3月期 業績報告 -セグメント別利益推移-

(単位:百万円)



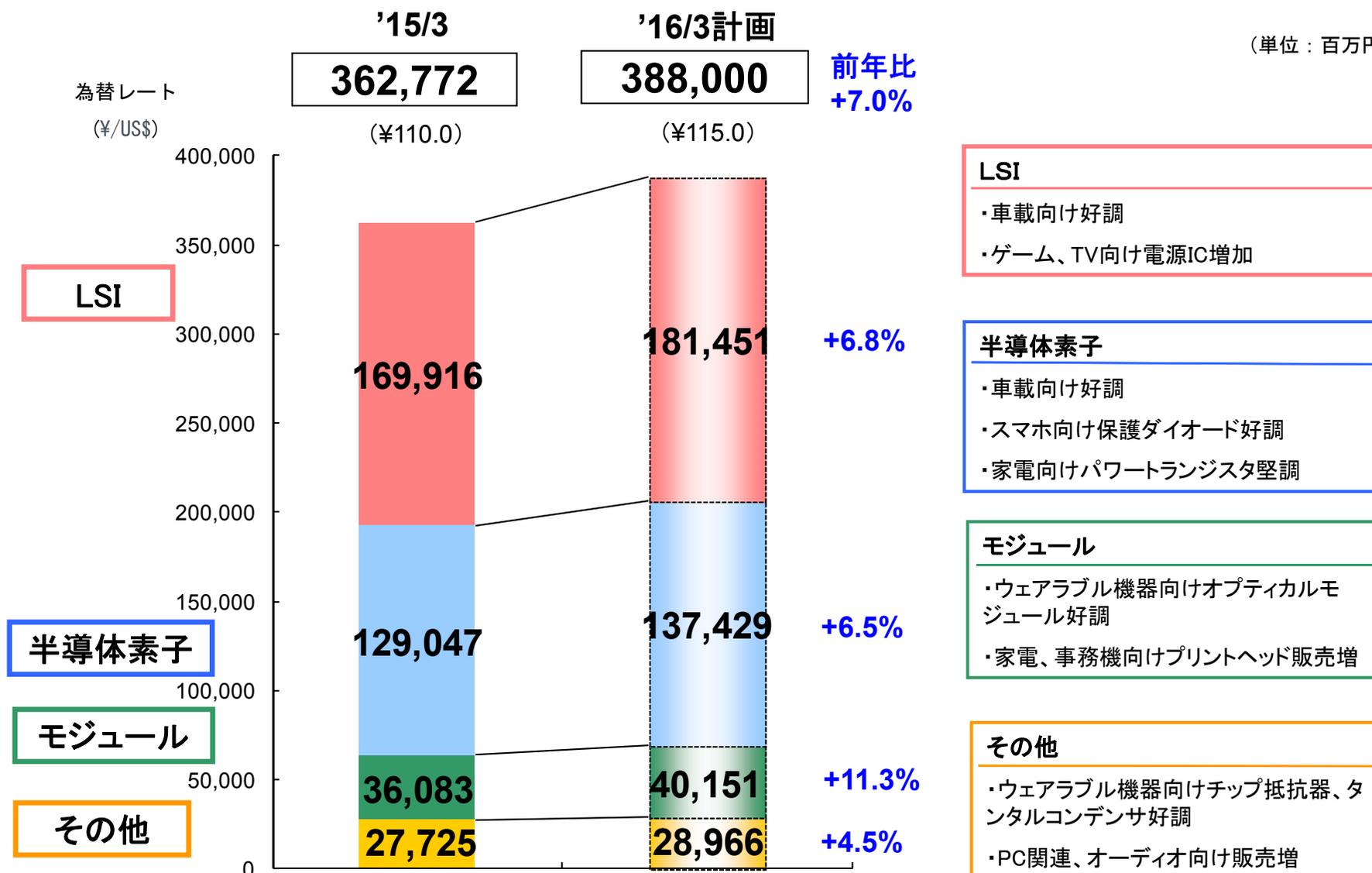
2016年3月期 業績予想 -実績比-

(単位:百万円)

	'15/3期 実績		'16/3期 予想		
	金額	前年比	金額	増加額	前年比
売上高	362,772	+9.6%	388,000	+25,228	+7.0%
営業利益	38,800	+64.2%	42,000	+3,200	+8.2%
(対売上比率)	(10.7%)	—	(10.8%)	—	—
経常利益	59,218	+64.9%	40,000	▲19,218	▲32.5%
(対売上比率)	(16.3%)	—	(10.3%)	—	—
当期純利益	45,296	+41.1%	30,000	▲15,296	▲33.8%
(対売上比率)	(12.5%)	—	(7.7%)	—	—
EBITDA	73,267	+48.9%	86,800	+13,533	+18.5%
(対売上比率)	(20.2%)	—	(22.4%)	—	—
期中平均レート(¥/US\$)	(110.03)		(115.00)		

2016年3月期 業績予想 -セグメント別売上実績比-

(単位：百万円)



LSI

- ・車載向け好調
- ・ゲーム、TV向け電源IC増加

半導体素子

- ・車載向け好調
- ・スマホ向け保護ダイオード好調
- ・家電向けパワートランジスタ堅調

モジュール

- ・ウェアラブル機器向けオプティカルモジュール好調
- ・家電、事務機向けプリントヘッド販売増

その他

- ・ウェアラブル機器向けチップ抵抗器、タンタルコンデンサ好調
- ・PC関連、オーディオ向け販売増

ロームの戦略 -まとめ-

1.市場改革

- 自動車市場へ注力する
- 産業機器市場を開拓する
- 海外顧客のウエイトを上げる

2.商品改革

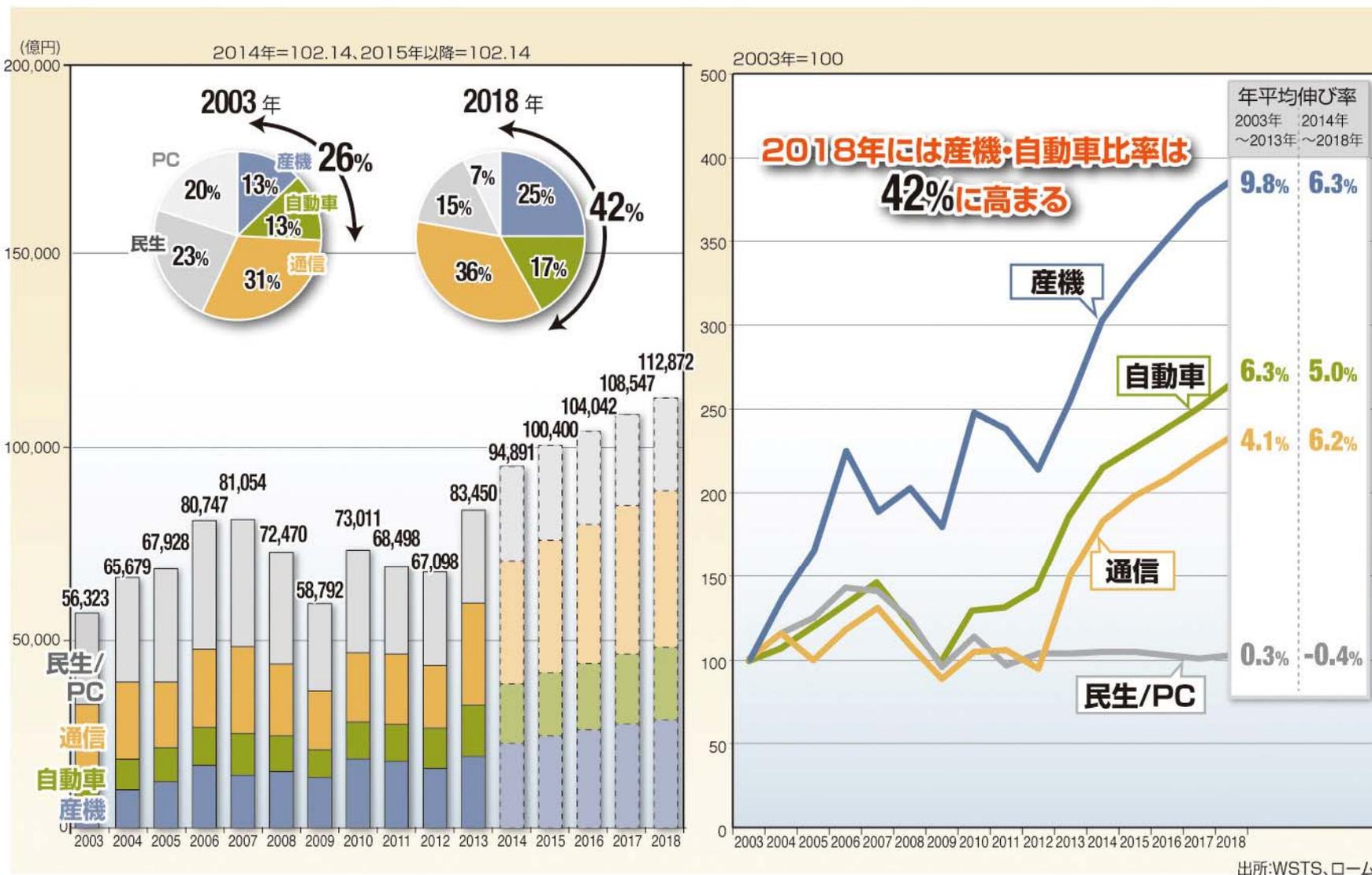
- アナログパワーで世界一を目指す
- 4つの成長エンジンに注力する
- 超小型デバイスでIT分野を攻略する

3.生産革新

- RPS(Rohm Production System) 活動を徹底する
- 圧倒的な供給力を確保するため増産投資を実施する

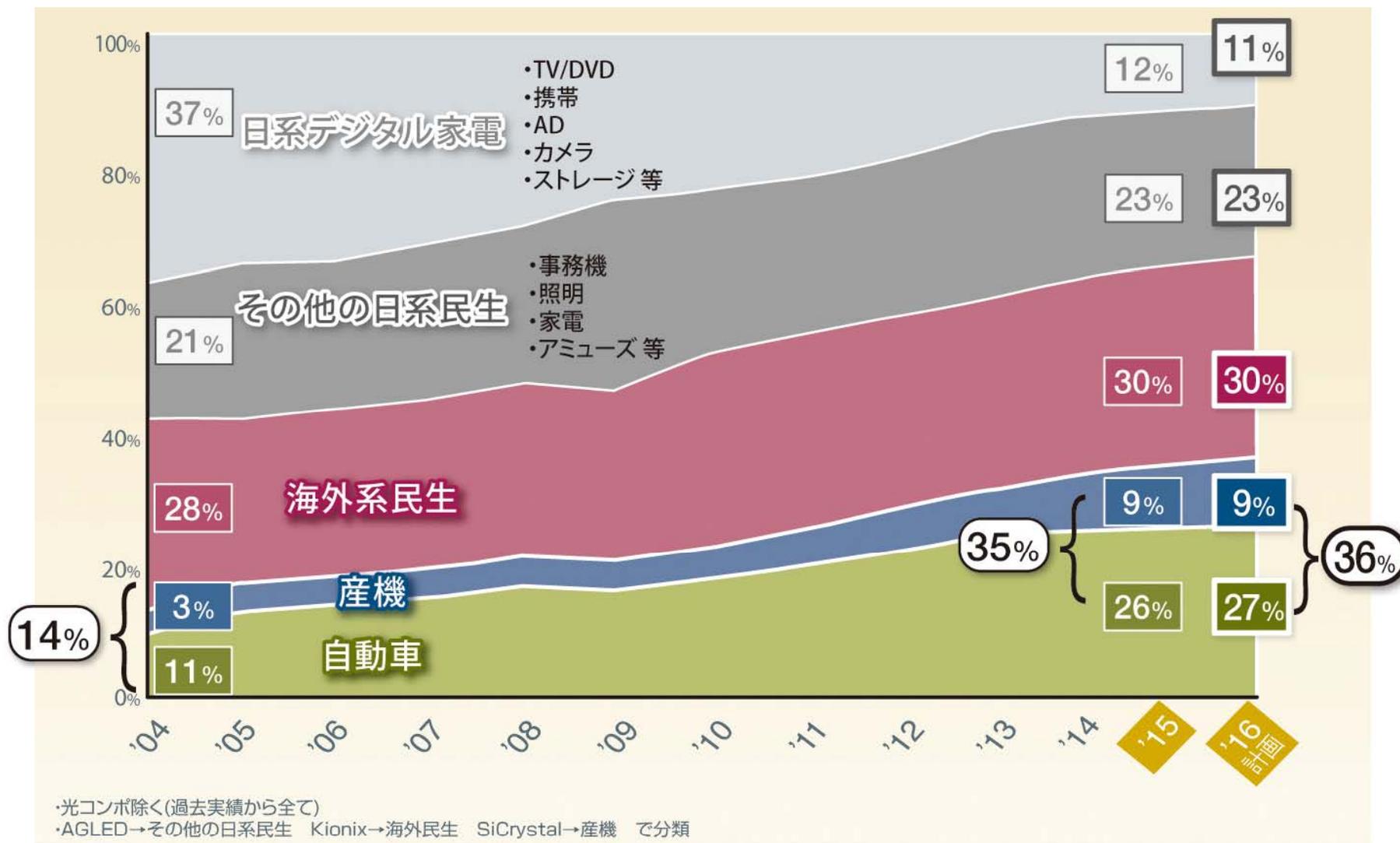
ロームの戦略

1.市場改革 ①ローム対象需要の変化



ロームの戦略

1.市場改革 ②13年間の市場別販売比率の推移



ロームの戦略

1.商品改革 ①アナログパワーで世界一を目指す

ロームの強みを磨く事で、車載、産機市場の ハイレベルなニーズに対応する

ご要求に
お答えする

経験豊富な アナログエンジニア

- ・パワーマネジメント
- ・モータコントロール
- ・リニアコントロール
- ・オーディオ
- ・センサコントロール
- ・ワイヤレステクノロジー

ワンストップ ショッピング

世界最小ディスクリートから
高効率パワーデバイスまで
周辺部品を一気にお届けする。

信頼を
お届けする

品質第一の 企業文化

垂直統合型プロセス

- ・トレーサビリティ
- ・ジャストインタイム
- ・特長あるプロセス開発

【 世界No.1 BiCDMOS 0.13
世界最先端 SiC 6インチウエハ 】

ロームの戦略

1.商品改革 ②4つの成長商品群の進展

LSI シナジー

■ インテル、フリースケール等とのリファレンスビジネスの拡大
■ **最先端BiCDMOSプロセスを使った
デジタル・アナログ混在大規模LSIの展開**

パワー デバイス

■ SiCを中心に特長あるパワーデバイスをラインアップ
■ **ドライブ用ICの開発とパッケージ展開でモジュール化を推進
パワーソリューションを提供**

オプティカル デバイス

■ **多機能化する車載用LEDとドライバLSIを強化**

2014年12月、ドイツデザインセンターのエンジニアを増強

センサ ネットワーク

■ **フォトニクス+MEMS技術+無線技術を組み合わせて提供**

2014年11月、フィンランド ソフトウェア開発センターを開設

ロームの戦略

3. 生産革新 ① RPS(Rohm Production System)活動を徹底する

工場再編は終了 → **体質強化へシフト**

RPS
[ROHM Production System] = **最高の品質を作りこむ**

ダントツの品質 ジャストインタイム コストダウン

7つの無駄を徹底的に排除

世界最高の工場を目指す



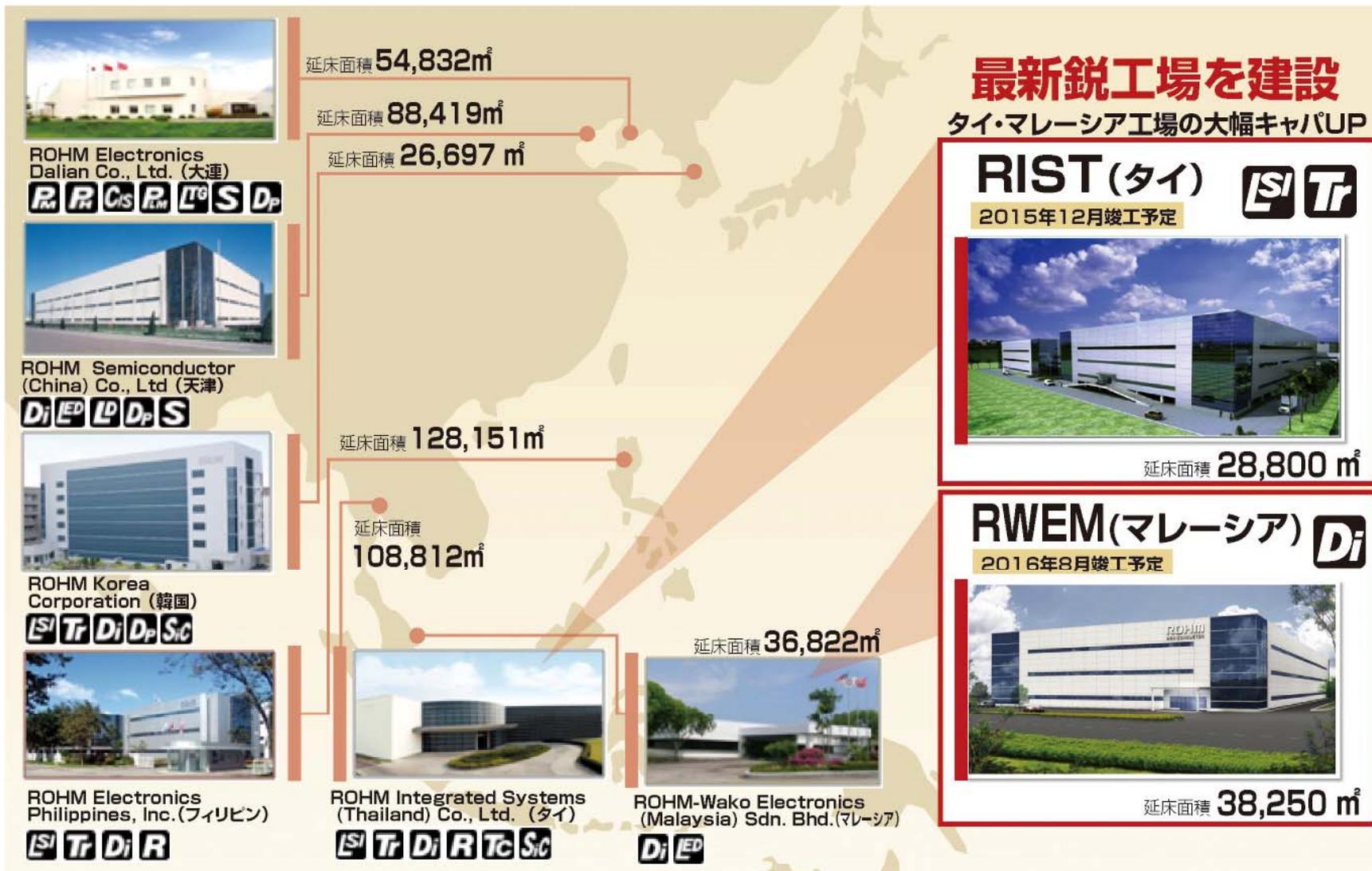
ロームの戦略

3. 生産革新 ② 増産投資の実施(前工程 = ウエハ工場)



ロームの戦略

3. 生産革新 ③ 増産投資の実施(後工程 = 組み立て工場)



設備投資 -セグメント別比較-

前期の主な設備投資内容

LSI

ウエハ工程：本社MEMS関連増設
浜松12インチ増強
組立工程：RIST/REPI増設

半導体素子

ウエハ工程：アポロ8インチ増強
組立工程：RIST/REPI効率改善、
IPM増強
ラピス宮崎：IGBTほか前工程増強

モジュール

OPM：センサ増強

その他

R：新製品増強ほか

販売管理等・共通部門

本社研究設備ほか

当期の主な設備投資内容

LSI

ウエハ工程：本社8インチ増強
浜松効率改善
組立工程：RIST新棟/REPI増設

半導体素子

ウエハ工程：IGBT増強
LAPIS PD増強
組立工程：マレーシア新棟、
RIST/REPIほか効率改善

モジュール

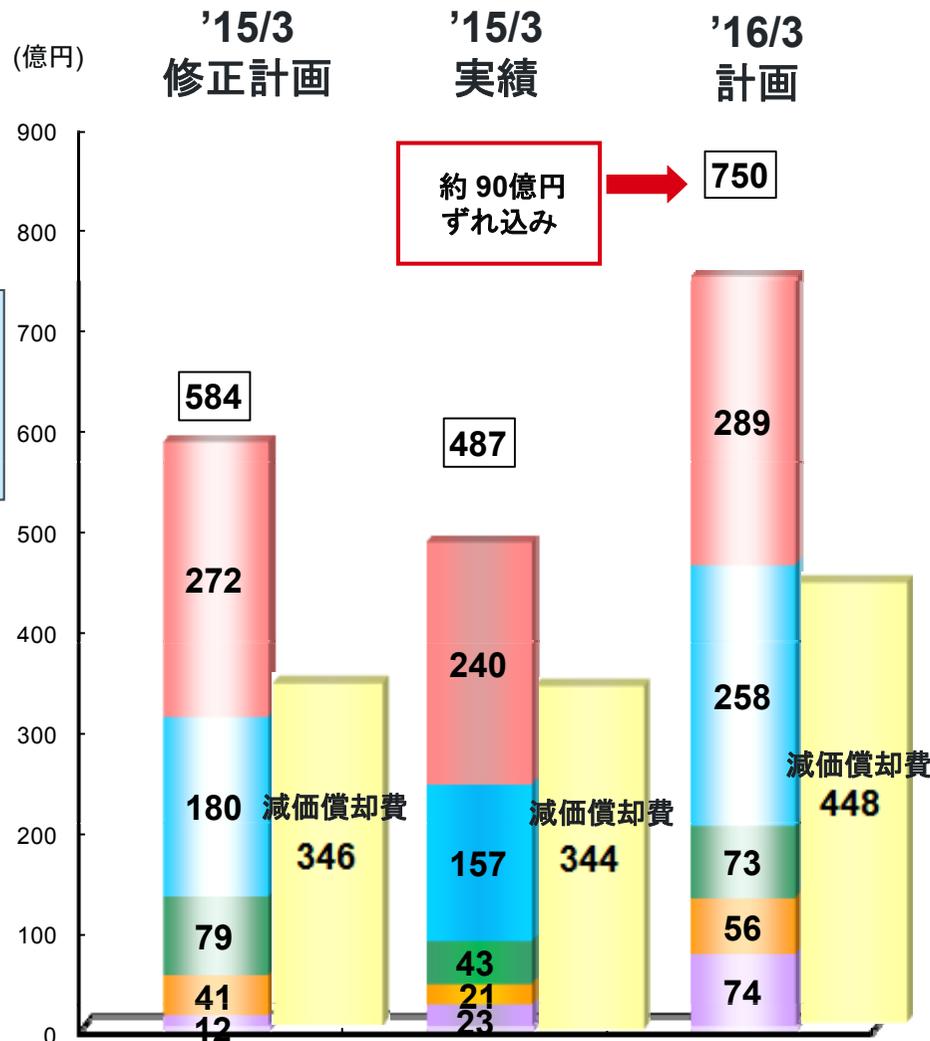
PH：前工程増強
OPM：スマホ向新機種立上

その他

R：新製品増強ほか

販売管理等・共通部門

本社：ディスクリフト棟建設ほか



設備投資 -目的別比較-

2015/3月期と比較して、1.5倍の大幅投資を行う

需要増に備えた供給体制強化と新分野の量産立ち上げ

ウエハプロセス関連

<ローム滋賀立ち上げ>

- ・IGBT主力工場立ち上げ
- ・圧電MEMS生産開始

アセンブリプロセス関連

- ・タイ(LSI)・マレーシア(ディスクリート)新工場建設、生産能力拡大
- ・最新設備への刷新

(単位:億円)

	合計	生産能力向上	土地・建物	新商品	品質向上	その他
‘16/3期 計画	750	333	160	114	79	64
比率	100%	44%	21%	15%	11%	9%

国内海外比率	‘15/3期	‘16/3期
国内	52%	58%
海外	48%	42%
合計	100%	100%

株主還元 -方針-

企業価値向上に向けての施策

- ・「市場改革」「商品改革」「生産革新」を強力に推進し、企業価値を持続的に拡大する。
- ・強固な財務基盤を活かし、M&A・アライアンスに積極的に取り組む。

株主還元方針

新方針

- ・2015/3期～2017/3期の3年間、フリーキャッシュフローを100%株式市場に還元する。



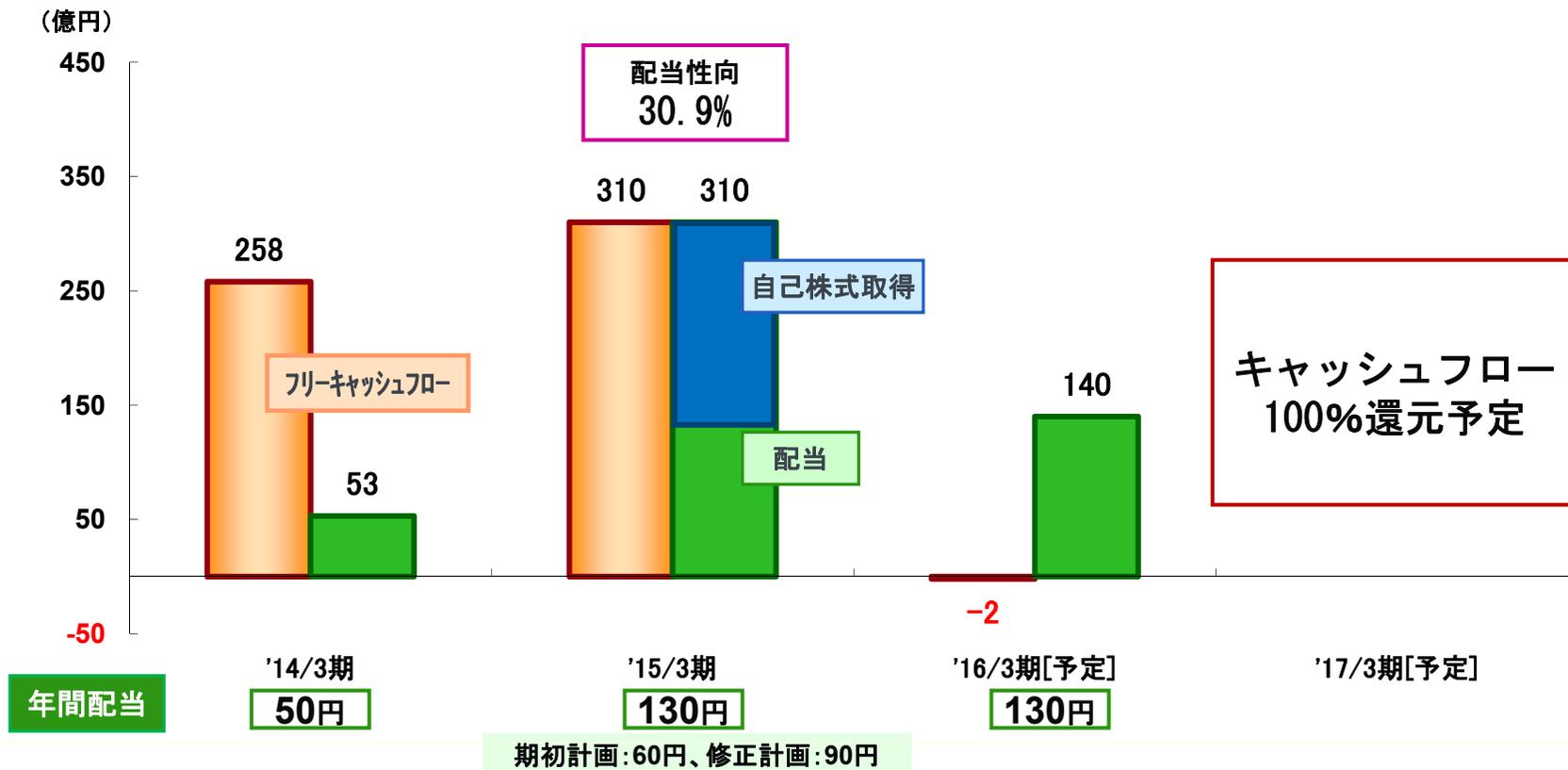
従来からの方針

- ・連結配当性向30%を目安とし、安定配当に努める。

株主還元 -推移-

今回決定した具体的還元策

- ①15/3期の1株当たり配当金:130円、16/3期:130円予定。
- ②15/3期の追加株主還元として自己株式を170億円取得する。(2015年5月実施)



LSI事業戦略 -まとめ-

① BiCDMOSプロセス0.13 μ mアナログIC量産スタート。
車載、産機仕様のアナログLSI製造技術基盤確立。
垂直統合の強味をフルに生かして品質、性能の差別化。

② 長期的な安定供給と品質向上への積極投資と生産ラインの革新に努める。
=RPSを再構築、車載品質にグレードアップ=

③ 開発の重点テーマは、

車載

顧客信頼獲得によるパワートレイン、安全装置系への拡大、
世界市場への深耕。

リファレンス
ビジネス

ラインアップの強化と車載・産機市場への参入。

家電

高耐圧モータドライバ、電源LSIの新興国でのシェア拡大。

IoT

グループのシナジーでセンサ及び通信デバイスで参入。

LSI事業戦略 -車載LSI事業展開例-

2018年モデル向け中心に開発中

インフォテインメント

国内外で一定のシェア確保!

クラスター向け電源・LEDドライバ

カーオーディオ・ナビゲーションシステム

車内ネットワーク
(LIN対応ドライバ電源)

バックモニタカメラシステム

方位・状態制御センサー

ビームフォーミング指向性マイク

パネル用通信LSI

パネル用電源LSI

静電タッチスイッチ

抵抗タッチ



ボディー制御

日系 + 一部海外採用

HVAC(エアコン)

ドア・窓コントロール

キーレスエントリー

LEDランプ制御

ヘッドランプ用LEDドライバ

多入力インタフェースLSI

通信用IC

ドットマトリクスドライバ

シートファンモータドライバ

LEDヘッドライトクーリングファン



パワートレイン制御

日系メーカーの採用開始

エンジン制御・制御用センサ

トランスミッション

スロットル制御

HEV, EV, FCV 関連

2次電池制御技術

モータ・インバータ技術

多入力インタフェースLSI

絶縁ゲートドライバ

スマートスイッチ

温度モニタ



安全装置系

日系メーカー向け量産中

電動パワーステアリング(EPS)

サスペンション制御

横滑り防止
(加速度センサ・ジャイロセンサ)

ABS
(回転制御)

スリップ防止制御
(加速度センサ等)

タイヤプレッシャー
(圧力センサ)

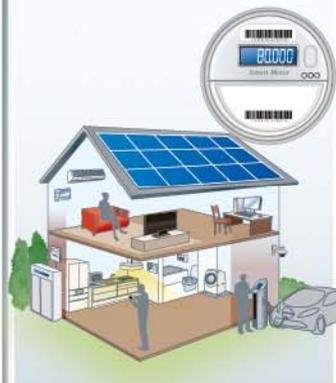
周辺監視

クリアランスソナー

車載カメラ電源



LSI事業戦略 -産業機器LSI事業展開例-

FAインバータ・ パワコン・ACサーボ	蓄電、バッテリー用途の 電動工具、電動機器全般	HEMS 電力メータ	インフラ・ 管制システム他	医療機器
<p>パワー</p> <p>絶縁ゲートドライバ Low Side IPD 高速応答DCDC電源 MOS内蔵ACDC 強化絶縁ゲートドライバ SiC駆動ACDCコントローラ フォトカプラレス絶縁電源 High Side IPD 大電流DCDCモジュール</p>	<p>パワー</p> <p>EDLCセルバランスIC Li-Ion電池監視 高耐圧電源 MOS内蔵ACDC フォトカプラレス絶縁電源</p>	<p>パワー</p> <p>降圧DCDC電源</p> <p>通信</p> <p>HD-PLC Inside サブギガ無線(920MHz) [LAPIS] WiSUN対応モジュール</p> <p>その他</p> <p>コントローラマイコン [LAPIS] LCDセグメントドライバ</p>	<p>パワー</p> <p>Atom E3800用PMIC FSL i.MX-6SL PMIC</p> <p>その他</p> <p>クロックレスリンク LCDドライバ LCDタイミングコントローラ センサ制御マイコン センサ制御ボード</p>	<p>パワー</p> <p>ADコンバータ フォトカプラレス絶縁電源</p> <p>通信</p> <p>BT対応ヘルスケアモジュール</p>
<p>モータ</p> <p>遮断弁モータドライバ バルブ制御IC Hブリッジモータドライバ</p> <p>通信</p> <p>WiLAN対応モジュール</p> <p>その他</p> <p>抵抗タッチ クロックレスリンク</p>				

ディスクリート・モジュール事業戦略 -まとめ-

① パワー市場向け商品開発、展開強化

- 最先端SiCパワーデバイス商品
- 抵抗からSiCまで幅広いパワー商品

② 小信号個別半導体、ゆるぎないW/WシェアNo.1

- ローム独自の世界最小デバイスRASMIDシリーズのラインアップ強化
- 高効率生産ラインへの継続投資

③ さらなる成長に向けた幅広い市場に対する積極的な取り組み

- 成長市場向け商品ラインアップ強化
- リファレンスビジネス取り組み強化
- IoTに向けた 小型通信モジュール開発・展開

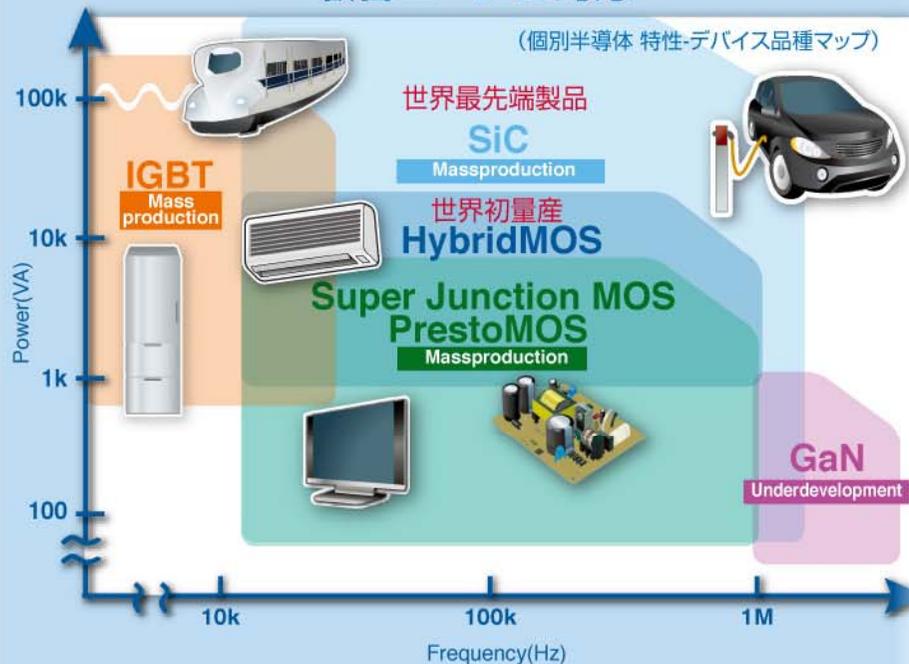
④ もの作り戦略

- 競争力があるもの作り実現と展開

ディスクリート・モジュール事業戦略 -パワー戦略-

Si、SiC、GaNすべての素材の特性を活かした幅広い商品開発

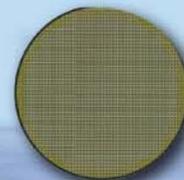
SiCを中心にパワーデバイスをラインアップ、
顧客ニーズに対応



HybridMOS : 低負荷~高負荷の幅広い領域すべてで低損失を実現
(PrestoMOSで対応できない高電力領域をカバー)

PrestoMOS : 高速trr化によるロスの低減で省エネに貢献

ウエハビジネス



パワーディスクリート



受動部品

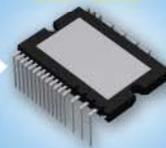


LSI制御技術



制御技術 + モジュール技術 結集

IPM



PM



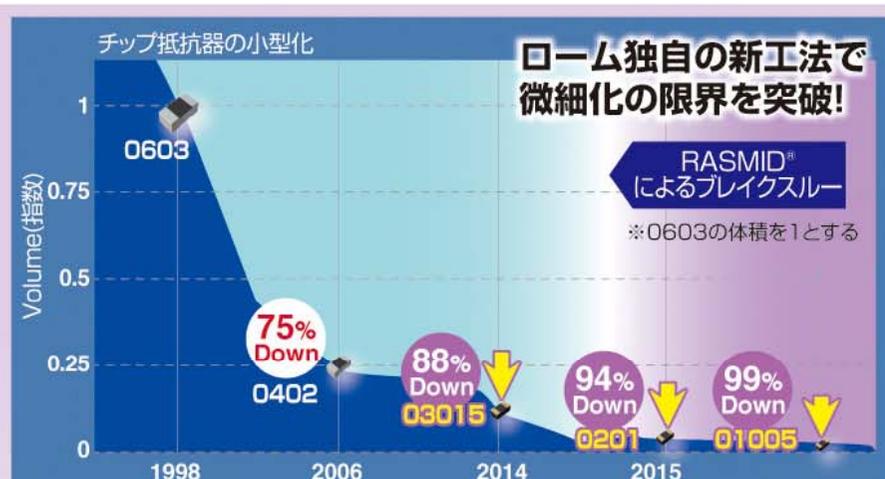
ダブルトレンチMOS内蔵
による低損失大電流を実現

(1200V/180A)

(~1200V/300A)

ディスクリート・モジュール事業戦略

-小信号戦略-



受注状況(2015見込み)

大手携帯向けチップセットメーカーに
採用決定

続々
採用

0603 SBD スマホ向け

0603 TVS スマホ向け

03015 R 計測器向け

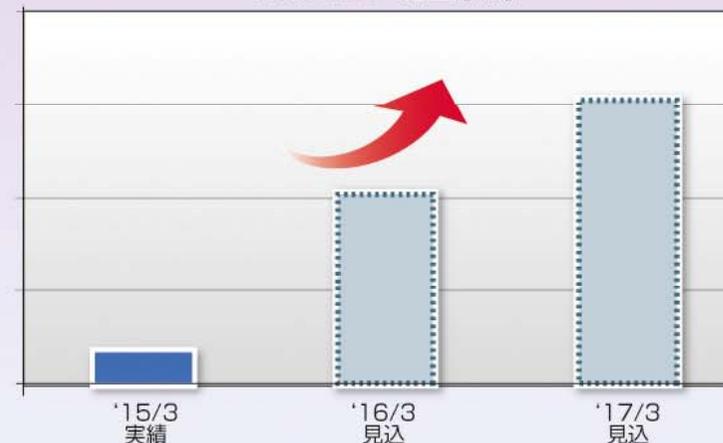
チップ機能を大幅に強化、ラインアップ続々登場

		~2013	2014	2015	2016
抵抗器	低TCR、 低ノイズタイプ	03015 □		0201 □	01005 □
ダイオード	ショットキー バリヤダイオード	0603 ○▷	0402 ○▷		
	ツェナーダイオード (片方向タイプ)	0603 ○▷	0402 ○▷		
	ツェナーダイオード (双方向タイプ)		0603 ○▷	0402 ○▷	
	TVSダイオード (汎用タイプ)	0603 ○▷		0402 ○▷	
	TVSダイオード (低容量タイプ)		0603 ○▷	0402 ○▷	
フィルタ	RCフィルタ			0603 □	
	LCフィルタ			0603 □	
チップヒューズ			1005 ~		

新ラインアップ

2015年下期LCRフィルタサンプル出荷開始

RASMID®売上予測



ディスクリート・モジュール事業戦略 -幅広い市場に対する積極的な取り組み-

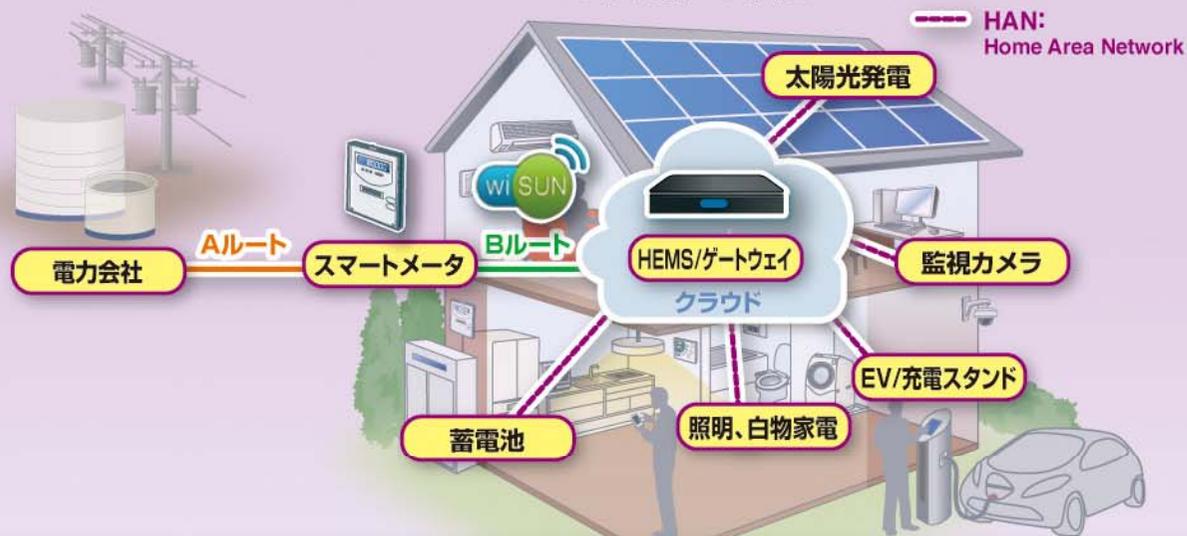
Wi-SUNの特長

電力を使わず
よく飛ぶ
よく曲がる



HEMSに最適

HEMSが実現する快適エコライフ



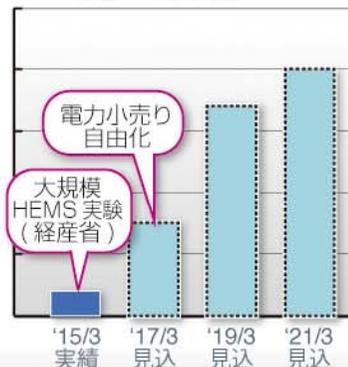
LAPIS
SEMICONDUCTOR



BP35A1

- Wi-SUNアライアンスでCTBU*(基準器)として唯一登録
- 日系LSIメーカーで唯一Wi-SUN用通信LSI生産 *Certified Test Bed Unit

ローム売上目標



Wi-SUN普及背景

(Wireless Smart Utility Network)

- 日本主導で策定された国際無線通信規格
- 920MHz帯の無線で、長距離、低消費電力
- スマートメーターのBルートで採用決定

ディスクリート・モジュール事業戦略 -車載市場への商品展開例-

実績のある「小信号デバイス」から「パワーデバイス」へ
ボディ・パワートレイン・安全装置で
売上拡大を目指す!

■ : パワーデバイス

インフォテインメント

- Tr** 小信号MOSFET
小信号バイポーラトランジスタ
デジタルトランジスタ
- Di** スイッチングダイオード
ショットキーダイオード
ツェナーダイオード
- R** 角型チップ抵抗器
シャント抵抗器

ボディ制御

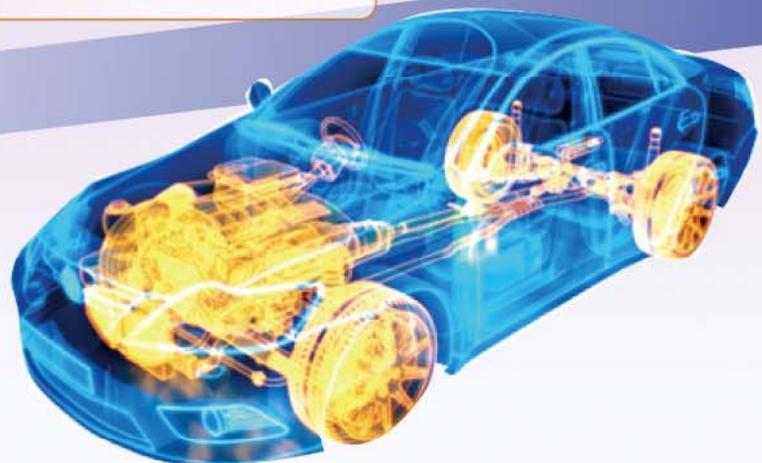
- Tr** **パワーMOSFET**
小信号MOSFET
小信号バイポーラトランジスタ
デジタルトランジスタ
- Di** **超低IRショットキーダイオード
ファストリカバリダイオード**
- Di** スイッチングダイオード
ショットキーダイオード
ツェナーダイオード
- R** 角型チップ抵抗器
シャント抵抗器

パワートレイン制御

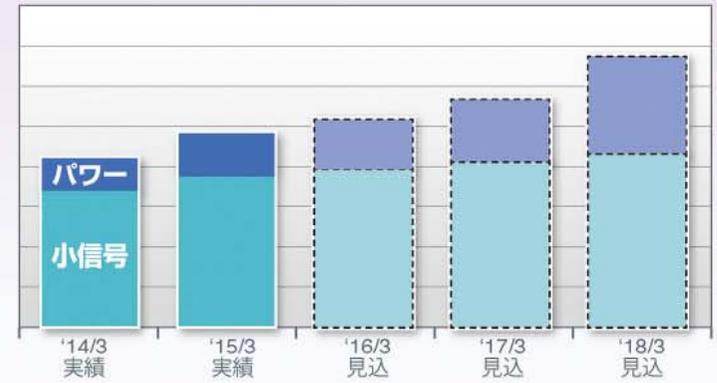
- Tr** **パワーMOSFET**
- Sc** **SiCショットキーダイオード
SiC MOSFET**
- IgBT** **IGBTモジュール**
- Di** **超低IRショットキーダイオード
ファストリカバリダイオード**
- R** 角型チップ抵抗器
パワーシャント抵抗器

安全装置

- Tr** **パワーMOSFET**
- Tr** 小信号MOSFET
小信号バイポーラトランジスタ
デジタルトランジスタ
- Di** **超低IRショットキーダイオード
ファストリカバリダイオード**
- Di** スイッチングダイオード
ショットキーダイオード
ツェナーダイオード
- R** 角型チップ抵抗器
パワーシャント抵抗器



車載向け売上予測
TR / DI / R / PD



将来予測に関する注意

本資料に記載されている計画値につきましては、ロームグループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成をロームグループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、本資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信を参照していただきますようお願いいたします。



2015年3月期